

～絵本の与え方と選び方～

絵本の選び方、与え方について、地域の図書館の絵本紹介冊子、出版社の資料、絵本について書かれている本など様々な資料があります。それらを活用し、子どもの発達段階や興味に合わせて絵本を選んでいきましょう。以下に、一例を示します。

【0歳～】

乳児は10か月くらいになると、親などの言葉を聞きながら絵本を楽しめるようになるので、「赤ちゃんと遊ぶつもりでゆったり」とした読み聞かせをこころがける。初めて絵本と出会う赤ちゃんにとって、絵本はお母さんやお父さんと遊ぶおもちゃのようなものです。無理に始めから終わりまで読み聞かせしようしたり、赤ちゃんが集中して見ていないからといって焦ったりしなくてよいです。

『くだもの』 平山和子 さく 福音館書店
『まるくておいしいよ』 こにしえいこ 福音館書店
『もう おきるかな?』 まつのまさこ さく やぶうちまさゆき え 福音館書店
『ここよ ここよ』 かんざわとしこ やぶうち まさゆき え 福音館書店
『ぶーぶーじどうしゃ』 山本忠敬 さく 福音館書店
『でてこい でてこい』 はやしあきこ さく 福音館書店
『きんぎよが にげた』 五味太郎 作 福音館書店
『ころころころ』 元永定正 さく 福音館書店
『かさ さしてあげるね』 はせがわせつこ ぶん にしまきかやこ さく 福音館書店
『たんたん ぼうや』 かんざわとしこ ぶん やぎゅうげんいちろう え 福音館書店
『おつきさまこんばんは』 林明子 作 福音館書店
『ちいさな うさこちゃん』 ディック・ブルーナ ぶん/え いしいももこ やく 福音館書店
『どうぶつのおやこ』 藪内正幸 画 福音館書店
『いやだいやだ』 せなけいこ 作/絵 福音館書店
『ねないこだれだ』 せなけいこ 作/絵 福音館書店
『もじやもじや』 せなけいこ 作/絵 福音館書店
『いないいないばあ』 松谷みよ子 作 濑川康男 絵 童心社
『がたんごとんがたんごとん』 安西水丸 作 福音館書店
『おててがでたよ』 林明子 作 福音館書店
『もこ もこもこ』 谷川俊太郎 作 元永定正 絵 文研出版
『こんにちは』 渡辺茂男 文 大友康夫 絵福音館書店
『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん 作 こぐま社
『おふろで ちゃぷ ちゃぷ』 松谷みよ子 文 いわさきちひろ 絵 童心社
『おとうさんあそぼう』 渡辺茂男 文 大友康夫 絵 福音館書店
『うずらちゃんのかくれんぼ』 きもとももこ 作 福音館書店
『たまごのあかちゃん』 かんざわとしこ 文 やぎゅうげんいちろう 絵 福音館書店
『だるまさんが』 かがくいひろし 昨 ブロンズ新社

【2～3歳】

日常の生活体験が少しずつ積み重なり、お母さんやお父さんだけではなく、兄妹や友だちといった他者への関心も強くなっていきます。自分と似ているものを喜んだり、絵本の登場人物の真似をしてみたり、自分から表現することにも興味をもちだします。

『ねないこ だれだ』 せなけいこ さく え 福音館書店
『どうすればいいのかな?』 わななべしげお ぶん おおともやすお え 福音館書店
『みんな うんち』 五味太郎 さく 福音館書店
『おおきなかぶ』 トルストイ 再話 内田莉莎子 訳 佐藤忠良 画 福音館書店
『三びきのやぎの がらがらどん』 マーシャ・ブラウン え せたていじ 訳 福音館書店

『てぶくろ』 エウゲーニ・M・ラフヨフ え うちだりさこ やく 福音館書店
『もりのなか』 マリー・ホール・エツツ ぶん/え まさきるりこ やく 福音館書店
『はなをくんくん』 ルース・クラウス 文 マーク・シーモント 絵 きじまはじめ 訳 福音館書店
『ぐりとぐら』 なかがわりえこ 作 おおむらゆりこ 絵 福音館書店
『おやすみなさいのほん』 マーガレット・ワイズ・ブラウン文 ジャン・ジャロー絵 石井桃子 訳 福音館書店
『かばくん』 岸田衿子 さく 中谷千代子 え 福音館書店
『めのまどあけろ』 谷川俊太郎 ぶん 長新太 え 福音館書店
『ちいさなうさこちゃん』 ディック・ブルーナ 文/絵 石井桃子 訳 福音館書店
『100まんびきのねこ』 ワンダ・ガアグ 文/絵 石井桃子 訳 福音館書店
『だるまちゃんとてんぐちゃん』 加古里子 文/絵 福音館書店
『ねずみくんのチョッキ』 なかえよしお 作 上野紀子 絵 ポプラ社
『はらぺこあおむし』 エリック・カール 作 もりひさし 訳偕成社
『ノンタンぶらんこのせて』 キヨノサチコ 作 偕成社
『ちいさなねこ』 石井桃子 作 横内裏 絵 福音館書店
『どろんこハリー』 ジーン・ジョン文 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 渡辺茂男 訳 福音館書店
『ぼくのくれよん』 長新太 文/絵 講談社
『どろだんご』 たなかよしゆき 文 さかゆうさく 絵 福音館書店
『とんとんとめてくださいな』 こいでたん 文 こいでやすこ 絵 福音館書店
『しょうぼうじどうしゃじぶた』 渡辺茂男 文 山本忠敬 絵 福音館書店
『ティッチ』 ハッチンス 文/絵 石井桃子 訳 福音館書店
『どろんここぶた』 ローベル 作 岸田衿子 絵 文化出版社
『アンガスとあひる』 マージョリー・フラック 文/絵 瀬田貞二 訳 福音館書店
『こねこのぴっち』 フィッシュナー 文/絵 石井桃子 訳 岩波書店
『ももたろう』 日本昔話 松居直 文 赤羽末吉 絵 福音館書店
『はたらくじどうしゃ1~4』 山本忠敬 文/絵 福音館書店
『14ひきのあさごはん』 いわむらかずお 作/絵 童心社
『ねないこだれだ』 せなけいこ 作/絵 福音館書店
『こぐまちゃんはおはよう』 わかやまけん 昨 こぐま社
『アンパンマン』 やなきたかし 昨 フレーベル館
『こんとあき』 林明子 昨 福音館書店
『いいから いいから』 長谷川義史 昨 絵本館
『わたしのワンピース』 にしまきかやこ 昨 こぐま社
『ふしぎなえ』 安野光雅 昨 福音館書店

【4歳】

子どもの好みがはっきりしてくる時期です。ものがたり絵本を中心に、子どもと楽しむことを大切にする本が適しています。子どもの心の成長に必要なものは変わらないはずなので、一過性の流行ではない、絵本が出版されてから20年以上子どもたちに喜ばれてきた絵本を選ぶことも一つです。

【5・6歳】

親子の時間を大切にするためにも、絵本を読んあげることが大切です。

『いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう』 バージニア・リー・バートン 作/絵 村岡花子 訳 福音館書店
『ぐるんぱのようちえん』 西内ミナミ 作 堀内誠一 絵 福音館書店
『きょうはなんのひ?』 瀬田貞二 作 林明子 絵 福音館書店
『ももたろう』 松井直 文 赤羽末吉 画 福音館書店
『ブレーメンのおんがくたい』 グリム童話 ハンス・フィッシュナー 絵 瀬田貞二 訳 福音館書店
『アンディとライオン』 ジェームズ・ドーハーティ ぶん/え むらおかはなこ やく 福音館書店
『おおきなおおきなおいも』 赤羽末吉 さく・え
『あおい目のこねこ』 エゴン・マチーセン 作/絵 せたていじ 訳

『しろいうさぎとくろいうさぎ』 ガース・ウィリアムズ 文/絵 まつおかきょうこ 訳 福音館書店
『三びきのやぎのがらがらどん』 北欧民話 マーシャル・ブラウン 絵 せたていじ 訳 福音館書店
『こすずめのぼうけん』 ルース・エインワース 文 堀内誠一 絵 石井桃子 訳 福音館書店
『11ぴきのねこ』 馬場のばる 作 こぐま社
『スーソの白い馬』 モンゴル民話 大塚勇三 再話 赤羽末吉 画 福音館書店
『モチモチの木』 斎藤隆介 作 滝平二郎 絵 岩崎書店
『はははのはなし』 加古里子 作/絵 福音館書店
『はじめてのおるすばん』 しみずみちお 作 山本まつ子 絵 岩崎書店
『はじめてのおつかい』 筒井頼子 作 林明子 絵 福音館書店
『100万回生きたねこ』 佐野洋子 作/絵 講談社
『しずくのぼうけん』 マリア・テルリコフスカ作 ボフダン・ブテンコ 絵うちだりさこ訳 福音館書店
『おおかみと七ひきのこやぎ』 グリム童話 フェリックス・ホフマン絵 瀬田貞二 訳 福音館書店
『そらまめくんのベッド』 なかやみわ 作/絵 福音館書店
『もりのなか』 マリー・ホール・エツツ 作/絵 間崎ルリ子 訳 福音館書店
『かいじゅうたちのいるところ』 センダック 作 神宮輝夫 訳 富山房
『おふろだいすき』 松岡享子 文 林明子 絵 福音館書店
『あくたれラルフ』 ジャック・ガントス 文 ニコール・ルーベル 絵 石井桃子 訳 福音館書店
『ラチとらいおん』 マレーク 文/絵 徳永康元 訳 童話館出版
『ふくろうくん』 アーノルド・ロベール 作 三木卓 訳 文化出版局
『おしいれのぼうけん』 古田足日 文 田端精一 絵 童心社
『かもさんおとおり』 ロバート・マックロスキー 文/絵 渡辺茂男 訳 福音館書店
『ぼくにげちゃうよ』 マーガレット・ワイズ・ブラウン文 クレメント・ハード絵 岩田みみ 訳ほるぶ出版
『かちかちやま』 日本昔話 小澤俊夫 再話 赤羽末吉 絵 福音館書店
『三びきのこぶた』 イギリス昔話 山田三郎 絵 瀬田貞二 訳 福音館書店
『さんまいのおふだ』 日本昔話 水沢謙一 再話 梶山俊夫 絵 福音館書店
『だいくとおにろく』 日本昔話 松居直 再話 赤羽末吉 絵 福音館書店
『ねずみのすもう』 日本昔話 神沢利子 文 赤羽末吉 絵偕成社
『ふるやのもり』 日本昔話 瀬田貞二 再話 田島征三 絵 福音館書店
『マーシャとくま』 ロシア民話 M. ブラトフ 再話 E. ラチョフ 絵 うちだりさこ 訳 福音館書店
『やまなしもぎ』 日本昔話 平野直 再話 太田大八 絵 福音館書店
『いやいやえん』 中川李枝子 文 大村百合子 絵 福音館書店
『エルマーのぼうけん』 R.S.ガネット 作 R.C.ガネット 絵 渡辺茂男 訳 福音館書店
『エルマーヒリュウ』 R.S.ガネット 作 R.C.ガネット 絵 渡辺茂男 訳 福音館書店
『おなら』 長新太 文/絵 福音館書店
『おしゃべりなたまごやき』 寺村輝夫 文 長新太 絵 福音館書店
『ごんぎつね』 新美南吉 文 黒井健 絵 偕成社
『しまふくろうのみずうみ』 手島圭三郎 文/絵 リブリオ出版
『ごちゃませカメレオン』 エリックカール 作/絵 八木田宣子 絵 ほるぶ出版
『スイミー』 レオ・レオニ 作/絵 谷川俊太郎 訳 好学社
『あおくんときいろちゃん』 レオ・レオニ 作/絵 藤田圭雄 訳 至光社
『とん ことり』 筒井頼子 作 林明子 絵 福音館書店
『えんそくバス』 中川ひろたか 作 村上康成 絵 童心社
『キャベツくん』 長新太 作/絵 文研出版
『りんごかもしれない』 ヨシタケシンスケ著
『めっきらもっきらどん』 長谷川摂子 昨 福音館書店
『セロ弾きのゴージュ』 宮沢賢治 昨 偕成社
『旅の絵本』 安野光雅 昨 福音館書店
『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治 昨 偕成社
『おおはくちょうのそら』 手島圭三郎 絵本塾出版
『泣いた赤鬼』 浜田廣介 昨 偕成社

日本の五大昔話

『舌切雀』『桃太郎』『さるかに合戦』『花さかじじい』『かちかち山』

日本の昔話

『こぶとりじいさん』『金太郎』『一寸法師』『かさじぞう』『おむすびころりん』『浦島太郎』
『うりこひめとあまのじゃく』『つるの恩返し』『かにむかし』『かもとりごんべえ』
『てんぐのかくれみの』『かぐや姫』など

イソップ寓話

『ありときりぎりす』『うさぎとかめ』『北風と太陽』『金の斧』『ねずみの相談』『きつねとぶどう』
『ねことねずみ』『すっぱい葡萄』『ずるい狐』『おじかとライオン』『雄鶏と宝石』など

アンデルセン童話（デンマーク）

『絵のない絵本』『即興詩人』『裸の王様』『みにくいアヒルの子』『人魚姫』『親指姫』『雪の女王』
『マッチ売りの少女』『野の白鳥（白鳥の王子）』『赤い靴』『スズの兵隊』『パンをふんだ娘』など

グリム童話（ドイツ）

『ヘンゼルとグレーテル』『灰かぶり（シンデレラ）』『赤ずきん』『ブレーメンの音楽隊』
『星の銀貨』『白雪姫』『いばら姫』『金のガチョウ』『おいしいおかゆ』『小人のくつや』
『ハンスのばか』『七羽のからす』『ガチョウ番の娘』『親指トム』『ラプンツェル』『かえるの王さま』
など

【参考文献等】

絵本の選びかたガイド 福音館書店 (fukuinkan.co.jp),

絵本の与え方 <https://www.fukuinkan.co.jp/pdf/ataekata.pdf>

『えほんのせかい こどものせかい』 松岡享子 著 文藝春秋

『子どもと大人をつなぐ。えほん・絵本・134冊』 増田喜昭 著 (株)学研教育みらい

『おうちで読んであげたい 150冊の絵本～0歳から6歳まで～』 浜松市立図書館

『保育基礎』 実教出版株式会社

『保育基礎』 教育図書株式会社